

第5回山口県産業技術振興奨励賞

山口県知事賞

株式会社医療福祉工学研究所

住 所 宇部市
業 種 サービス・販売・研究開発
代 表 者 代表取締役 もんでん あきら 門田 章
代表者年齢 65歳



山口県知事特別賞

きど しょうじ
木戸 尚治

所属・職 国立大学法人山口大学 大学院医学系研究科
教授
年 齢 55歳



受賞理由

「先端医療福祉機器・システムの研究開発」

山口県内の医療機関では、CT（コンピューター断層撮影法）やMRI（磁気共鳴画像）の設備はあるものの、撮影した画像から早期がんなどわずかな病変を見分けることができる専門医の確保が困難で、従来は山口大学医学部の放射線科医が各病院に赴いて読影を行っていたが、放射線科医の移動に時間を要するほか、診断結果の伝達に再度訪問をしなければならないことが問題となっていた。

こうした問題を解決するため、当社は、読影医が病院を訪問しなくても読影ができるシステムの開発に着手し、平成18年から遠隔読影システムを立ち上げ、「山口医療画像研究センター」においてサービスの提供を始めている。

サービスの特長としては、他のネットワークとは分離された独自の回線を使用することにより、高速度かつ高セキュリティの通信が可能である点が挙げられる。

また、当システムは、連携機関である山口大学大学院医学系研究科の木戸教授の助言・指導により、音声入力でのコンサルティングレポート作成や施設間でのデータ転送機能等の機能強化を行うことで、遠隔読影事業に最適で効率的なシステムに構築されている。

これにより、依頼元の医療機関から送信された画像はセンターで読影された後、「所見レポート」にまとめられ、原則として24時間以内に返送されるようになり、過疎地域であっても都市部と同質の高度な医療を受けることができる体制が整備された。

当サービスは山口大学医学部放射線科の全面的な支援の下、地域医療機関の医師と読影医の間でレポート作成や質疑応答を行うことができる「顔の見えるサービス」となっていることも特長であり、現在では、県内外の30の医療機関と契約を締結し、年間約4万件を読影することで、地域医療への貢献を果たしている。



●宇部市メディカルクリエイティブセンター
(MCC) (山口医療画像研究センター)

の外観と内観



●ネットワーク概要

